学びの庭

文責　瀬古口

平成二十五年七月号

一学期を振り返って

一学期の最初に生徒のみなさんに二つのことをお願いしました。

一つ目は「**日本一あいさつの素晴らしい学校になる**」ということでした。どうでしたか？

先日の「花咲ロード」の時、地域の方に「よろしくお願いします」とあいさつをしたとき、地域の方から大きなどよめきが起こりました。あまりにも、しっかりと大きな声であいさつをする君たちの姿に感銘を受けられたようでした。学校の内外でもそんな姿がいたるところに見受けられます。素晴らしいことです。

あなた達が生きていくこれからの時代は、コンピュータや情報機器が計算などの複雑な仕事を全てやってくれます。

そんな中では、人と人とのコミュニケーションをしっかりととれるかどうかが一番求められることだと思います。しっかりと会話をする中で、**「心を受け取る力」「心を伝える力」**をしっかりと身につけることが、最も大事なことだと思います。このことはもうひとつのお願いしたことにつながっています。

二つ目は「**一人一人の違いを認め合い、応援していける関係を大事にする**」でした。みんな同じであるはずがない。DNAはみんな違います。顔かたちは勿論。気持ちの強さや、得意不得意など違って当たり前です。しかし、みんなが共通して生まれながらにして持っているものがあります。それは、**「優しい気持ち」**です。

先日の新聞に次のような記事が載っているのを見つけました。

生後十カ月の赤ちゃんでも、困っている人に同情する気持ちがあるかも。京都大や豊橋技術科学大（愛知県）のチームがこんな実験結果をまとめ、米オンライン科学誌プロスワンに十三日発表した。

一歳半以上の子供では今まで同様の結果が報告されていた。今回、まだ言葉を話さない、より幼い乳児にも思いやりの心が見られることを示しており、京大の鹿子木康弘特定助教は「人間の本質は『善』だと示唆している可能性があるとしている。

チームは、青い球体と黄色の立方体を「攻撃者」と「攻撃される者」に見立て、両者が動き回りながら、一方が攻撃者として、もう一方にぶつかる動画を用意。

生後十カ月の日本人の赤ちゃん二十人に、どちらかの図形が攻撃者、攻撃される者になる動画を見せた後、両方の図形の模型を置き、どちらを手に取るかを観察した。すると、二十人中十六人が攻撃された方の模型をつかんだ。両者がぶつからない動画を見せた別の二十人の赤ちゃんでは、手に取る模型に偏りはなかった。

チームによると、チンパンジーの群れで、けがをした仲間に近寄るなどから、物をつかむなどの接近行為は、動物行動学的に同情している態度と考えられている。

しゃべられない乳児…イジメ敏感、被害者に反応

このことは、人間は生まれながらにして「優しい心」を持っており、本質的に「善」だと言うことが出来ると言っていることになります。

じゃあなぜ「いじめ」たり「傷つけたり」「悪いこと」をしたりするのか？

生きていく中で後天的に自己中心的な考えが強くなっていくのでしょうか？

しかし、このことは生まれた頃に戻って、誰もが優しい心を持てることも示しています。

富中ではみんながそんな風になりたい。そう思いませんか？。

夏休みは、自分のこと、家族の一員として、世の中との関わりについてしっかりと考える良い機会です。

三年生は、修学旅行で長崎に行ってきました。二日目には、平和学習で「原爆資料館」へ行き、平和ガイドさんの案内で永井隆記念館などを見て回りました。あらためて、戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを知り、平和の大切さを実感しました。夏休み中には、８月６日、８月９日、８月１５日の大事な日があります。是非、考える時間をとって欲しいと思います。

君たちの中には読んだことがある人がいるかもしれませんが、**妹尾河童さんの「少年H」**が映画化され公開されます。機会があれば見て欲しいと思います。

富雄中学校区の夏祭り

○　鳥見ふるさと夏祭り
　日時：７月２０日（土）１６時３０分～
　場所：鳥見小学校

○　２０１３富雄・三碓合同夏祭り
　日時：８月３日（土）１５時～
　場所：富雄中学校

今年も地域の夏祭りが盛大に行われます。盆踊りの練習を活かす意味でも積極的に参加してください。今年は、富雄地区と三碓地区が合同で夏祭りをします。ボランティアクラブによる「富より団子」の販売、吹奏楽部による演奏、防災訓練、ステージ発表などがあり楽しい一日になると思います。

三年生の夏、輝きの夏、充実の夏、部活動の感動をしっかりとかみしめられる夏に！

夏休み入って二十一日から八月六日まで、私も県下走り回って応援したいと思います。友や後輩やお父さんお母さん、家族の方々、顧問の先生への感謝の心を忘れず、気持ちを込めたプレイで。健闘を祈っています。